



ぴっぴだより

No.5. 2023. 7. 26

私が小学生の頃、片道3kmの小学校までの通学路を1時間かけて歩いていました。行きは下り坂ですが、帰りはずっと上り坂。寄り道もたくさんしました。その道中で、男の子にカエルを投げつけられたり、桑の実をハンカチにいっぱい収穫して学校に着き「さあ！食べよう」とハンカチを広げたら全部潰れていて桑の実染めみたいになっていたり、アスファルトの上で干からびたミミズを集めて帰ったり、シロツメ草の冠を作りながら帰ったら、家に着く時には3mくらいになっていて、少しでも長持ちさせたくて冷凍庫に入れておいたら見つけた母が「ギャー！」と驚いたり、途中で野ぐそ（言葉が悪くてすみません）をしていた男の子が「うんちもりもり」というあだ名をつけられちゃったり、高い崖から雪の中にジャンプしたらランドセルが壊れちゃったり、ヒグラシの声を聞いて妙にセンチメンタルな気持ちになったり… 私の小学校生活は通学路でのできごとが半分を占めていたように思います。

大人がいないので、何か起こった時には子ども達だけでどうにかしなければなりません。そして、大人がいない『子どもだけの特別な時間』だったように感じます。

さて、現在。週に一度、平日に休みがあります。その休みの日は小学生の息子と通学路（1000m林道）を歩くようにしています。6年生の長男は私が歩くことを白い目で見ていますが、4年生の次男はワクワクと一緒に歩いてくれます。次男「この前、ここに鳥の赤ちゃんが落ちてて、森に返したんだ。」「ここは桑の実が多いところだよ。」など、通学路での色々な出来事を教えてもらいながら歩きます。また、息子の友だちや、全然知らない小学生に声をかけて、いつの間にか顔を覚えてもらえるようになりました。子どもたちが安全に通学できますように！と願いながらの時間です。『子どもだけの特別な時間』にちょっとお邪魔しております。

ところ変わってぴっぴの森。一日過ごしていると色々な事が起こります。木に引っかかって泣いている人、水遊びで水が顔にかかって嫌がっている人、お母さんへのおみやげのお花を摘んでいる人、泥んこ池で大きいカエルを見つけて「アミ！アミ！」と網を取りに走っている人、海賊船で忙しそうに〇〇ごっこをしている人、セミの羽化をじっくり見ている人荷物置き場で気持ちよさそうに寝てる人、友だちに嫌なことを言われてしょんぼりしている人、友だちに嫌なことを言っちゃってどうしたらいいのかわからなくなっている人・・・大人（スタッフ）はいますが、ここもまた、『子どもだけの特別な時間』です。

息子たちがびっぴに通っていた頃、「みんなでどーぞ、おかーさん！」の時間が大好きでした。走ってきて飛びついてくれることは少なかったのですが、友だちと森の中に隠れていても、座禅を組みながら待っていても、スタッフの足の周りでダラダラしていても、あの時、我が子と再会した一瞬は大切な大切な時間でした。子どもにしたら、『子どもだけの特別な時間』から日常に戻る時間だったかもしれません。

幼児教育を初めて学んだ時、子どもに対する考え方が変わった言葉があります。『子どもは大人のお供え物ではないから子供と書かない』また、フランスの啓蒙思想家ルソーの言葉に出会ったのもこの時です。『いつも子どもを大人に近づけることばかりに夢中になり、大人になるまでの子どもの状態がどのようなものだったのかを考えようとしなさい』『子どもは小さな大人ではない』 当時はこの言葉の真意がよくわかりませんでした。今になり自分の中に落ちてきた感覚があります。子どもは子どもの中で過ごし、考え、感じ、動く、そのことを十分に保証したいと思います。

『子どもだけの特別な時間』

びっぴで過ごしている時間、どんなことが行われているの？ケンカしているんじゃないの？友だちに手を出しているんじゃない？友だちにやられている？ちゃんと仲良く遊べている？見えないから心配になるし、見たくなる。けれど、子どもはもう自分の時間を持っていて、大切な時として生き生きと生きています。「みんなでどーぞ、おかーさん！」のあの瞬間、我が子と再会した時、想像してあげてください。どんな一日だったかな？と。きっと子どももお母さんの一日をあの瞬間に想像しているかもしれませんね。



2019/8/30 次男（おおくり時代）座禅を組んで待つ

：沙耶香

森と絵本と巡る季節

8月

「ぴっぴの森でかぞえましょ」

日々、なにげなくみている木々や草花、どれもおなじにみえてしまう... 違いがよくわからない...

という方はこんな絵本はいかがでしょう♪ 『はなびらなんまい? きのみはいくつ?』 岸田裕子 訳 百夫 挿絵
〜はなびや えんもかぞえましょ〜

「1つが 2つ 3まい 4こ いろんなかぞえかぞえよう

さんぽしにがらみつつけよう」という言葉からじじまり、1、2、3と数字とともに色々な草花たちが登場します。ここでは絵本にも登場し、(✓)



1 はなびらなんまい
花と葉が合えば
9x7のめずらしい植物
5月頃花がさき
ここの草花が多いです

① 枝の葉の上に ① 20葉

② すいかすくら

② 2の花に
② 2の果
はなびらも ② 枝の
のどに近く薬草
葉酸は蓄りのお茶にTします

③ かたじけなし (はなびら3枚)

美をかわる
アサギ
種が
はなびら

かわいらしいハート
の葉、はなびら、道ばた畑
公園などどこでも
たぐりあわさる
すばいエゾアザミ
アザミにも!

4 あかぬ (苗色のあかぬ)

根が苗色 草木染めの
原料にも薬草としても
使われる
葉が ④ 枚セットでついていて
④ 角形です (あかぬ)

5 あけびの葉

「五葉あけび」という名のあけび
5枚の葉は
みつけやすいです!
秋に食べられる葉の
美しい葉がはなびら

6 エリの花

エリの花ははなびら
どれも6枚、7枚よく
みると3枚+3枚で
構成され、大きな
3枚の花びら
そして外側の
3枚が ②
T2のです。

7 はなびら

(→)ぴっぴ周辺にもある植物を数字とともに少しご紹介しましょうね。こんな風に

数字とともに覚えていくと、植物が少し身近に感じられるでしょうが、そしてこうしてみると葉も花も1枚で枝についているのではなく、様々な規則制があるのですね。

もうすぐ夏休み! ぜひお子さんと外にでかけたら、森や公園の植物を数えたり、並べたりしてみてください。いつも歩いていた場所が、きっと変わっていくと思います。子どもと共に発見すると、とても楽しいですよ! よい夏休みをお過ごしください♪ 葉の奥

たはたたより

7/10 (A). おおきくみのみんなどでじゃがいも掘りをしてきました。
少しおれかけているじゃがいもの草を抜いて、その下の土の中を
じゃがいもを探して掘っていきます。おいもを発見したときの
「あったー！」みんなで宝探しをしている感覚。みんなで作業
できる豊かさ。喜び合える嬉しさ...

先日、わが家の息子(さくじろう)と話していました。
「4月にじゃがいもの種を植えてさあ、それが7月に4収穫できる、て
すこいよね! ポテトフライ、煮、ころかし、コロッケ、ポテトサラダ、
ポテトグラタン、肉じゃが、ハッシュドポテト などなど...

植えたほうが いいね!」
「お米もさあ、4月に種をまいて、5月に田植えして、10月に4収穫...
自分たちの主食が半年後にとれるって...植えたほうがいいね!」
どちらも植えられる環境が身近にあることに感謝
しながら話していました。

先日、田んぼの地主さんより「ひっひの田んぼに
ハイケボタルが出始めました。まだ5~6匹ですが」と
嬉しいお知らせがありました(黒板でもお伝えしましたが)
まだ会えていませんが会いたい! もう系冬わってしまったかなあ...
虫に近くで会えるなんて思ってもいなかった少し前の自分。
田んぼって豊かだなあ~ 火田もおもしろいなあ~ 土ですこいさあ~
そう思わせてくれるこの場所に感謝です。

毎週水曜日の田んぼの草取りもきょう7/26が最後でした。
ご協力ありがとうございました! また来年もよろしくおねがいいたします。④